

# Panasonic®

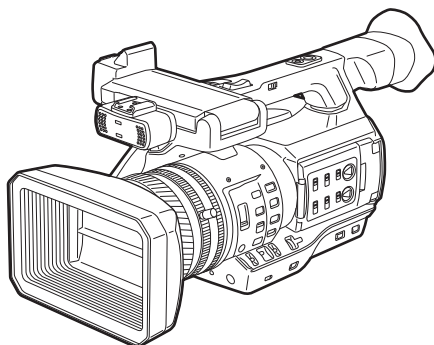
## 取扱説明書 簡易版

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AJ-PX270**

### P2HD

micro  
P2



HDMI™ 

**AVC ULTRA**

**AVC INTRA**

**AVC Long G**

**DVC PRO HD**

**DVC PRO 50**

**DVC PRO**

**DN**

このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

簡易版  
取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (HTML) を参照してください。

- 
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
  - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
  - MMC (Multi Media Card) は、Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
  - Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
  - Apple、Macintosh、Mac OS、QuickTime、iPad、iPhone は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
  - Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
  - その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
  - 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
    - AVC 規格に準拠する動画 (以下、AVC ビデオ) を記録する場合
    - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
    - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
  - Use of DCF Technologies under license from Multi-Format, Inc.

## 本書の見かた

---

### ■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

### ■ 表記について

- [ ] の語句はビューファインダーや液晶モニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

### ■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (00 ページ) のように示しています。

### ■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、「SD メモリーカード」と記載しています。
- 「P2」ロゴがついたメモリーカード AJ-P2E064FG (別売品) などを「P2 メモリーカード」と記載しています。
- 「microP2」ロゴがついたメモリーカード AJ-P2M032AG (別売品) などを「microP2 メモリーカード」と記載しています。
- P2 メモリーカードと microP2 メモリーカードは特に区別しない限り、「P2 カード」とのみ記載しています。
- USB に接続される外部ハードディスクドライブ (HDD) などのメディアを「ストレージデバイス」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

# もくじ




安全上のご注意 .....	4
ご使用前に .....	9
各部の名称 .....	13
左面部 .....	13
右面部 .....	16
前面部、後面部 .....	18
上面部 .....	20
電源の供給 .....	23
バッテリーの充電 .....	23
バッテリーの取り付け / 取り外し .....	24
アクセサリーの取り付けと調整 .....	26
アイカップの取り付け .....	26
設定メニューの構成 .....	27
メニューの種類と開き方 .....	27
メインメニューの構成 .....	27
本機搭載ファームウェアのアップデート .....	28
保証とアフターサービス（よくお読みください） .....	29
修理を依頼されるとき .....	29
定格 .....	30
寸法図 .....	30
定格 .....	30

## 安全上のご注意







必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



	<b>危険</b> 「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	<b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。


   	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。

## 危険

### バッテリーは…

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 指定以外のものを使わない</li><li>■ 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない</li><li>■ 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない</li><li>■ 電子レンジやオープンなどで加熱しない</li><li>■ 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。） ⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては（9 ページ）をご参照ください。 ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本機専用のバッテリーチャージャーで充電する （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）</li></ul>

### バッテリーチャージャーは…

	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）</li></ul>
--	---


**警告**

## カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く  
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき  
 (そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。)]  
 ⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。  
 ⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。  
 ⇒ 販売店にご相談ください。



- 乗り物を運転しながら使わない  
 (事故の誘発につながります。)  
 ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。
- 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない  
 (火災の原因になります。)  
 ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。
- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない  
 (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど\*の原因になります。)  
 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。  
 ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターやバッテリーチャージャーなどの電源プラグに触れない  
 (落雷すると、感電につながります。)






- 分解や改造をしない  
 (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)  
 ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。




- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする  
 (火災や感電の原因になります。)  
 ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。  
 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

## ⚠ 警告 (つづき)

### ACアダプター、バッテリーチャージャーは…


	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ACコード・電源プラグを破損するようなことはしない                      [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]</li> <li>■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない</li> <li>■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない                      (感電・火災の原因になります。)                      ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>
 ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ぬれた手で電源プラグやコネクターに触れない                      (感電・火災の原因になります。)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む                      (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)                      ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</li> <li>■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる                      (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。)                      ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</li> </ul>

### 小さな付属品は…




	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ メモリーカード (別売品)、マイクホルダー用ねじは乳幼児の手に届くところに置かない                      (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)                      ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</li> </ul>
--	--


**注意**

## カメラレコーダーは…

	<p>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</p>
	<p>■ コンバージョンレンズなどを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (コンバージョンレンズなどの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p>

## カメラレコーダーや付属品は…

	<p>■ 本機の放熱を妨げない 押し入れや本箱など、狭いところに入れず、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
	<p>■ コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターやバッテリーチャージャーの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

■ 本機で使えるバッテリーについて（2018年10月現在）

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-VBR59（付属品）およびAG-VBR89、AG-VBR118、VW-VBD58、VW-VBD55です。

**パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ**

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



## ご使用前に

### ■ ご使用前には、必ず内蔵電池が消費していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。

内蔵電池が消費していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消費していないか確認してください。

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。

### ■ 雨天、降雪中、海岸などで使うときは、カメラレコーダーに水が入らないようお気をつけください。

カメラレコーダーやカードの故障の原因になります。(修理できなくなることがあります)

### ■ 磁気を発生する機器 (テレビ、テレビゲームなど) からカメラレコーダーを遠ざけてください。

- テレビの上やその周辺でカメラレコーダーを使用すると、電磁波の放射により画像や音声にひずみが生じることがあります。
- スピーカーや大型モーターが発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。
- マイクロコンピュータから放出される電磁波は、カメラレコーダーに悪影響を及ぼし、画像や音声にひずみを生じさせることがあります。
- 磁気を発生する機器により、カメラレコーダーが悪影響を受け、正確に動作しなくなることがあります。この場合、カメラレコーダーの電源を切り、バッテリーを外すか、ACアダプターをコンセントから抜きます。次に、再度、バッテリーを入れるか、ACアダプターを接続します。その後、カメラレコーダーの電源を入れます。

### ■ カメラレコーダーをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。

ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音に悪影響が出るおそれがあります。

### ■ 海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラレコーダーに入らないようお気をつけください。

砂やほこりでカメラレコーダーやカードが破損することがあります。(カードを出し入れするときにはお気をつけください)

### ■ バッテリーチャージャーとバッテリーについて

- バッテリーが適温でも (CHARGE) ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。販売店にご相談ください。
- バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- バッテリーチャージャーをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。バッテリーチャージャーとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- バッテリーチャージャーの使用中に、ノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

### ■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは、一般社団法人 JBRC の Web サイトを参照してください。

<http://www.jbrc.net/hp>

### ■ 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 使用済み充電式電池を分解しないでください。



■ カメラレコーダーを持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃でカメラレコーダー本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラレコーダーを持ち運ぶときは、グリップベルトかショルダーベルトを持ち、ていねいに取り扱いしてください。

■ カメラレコーダーに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラレコーダー本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- カメラレコーダーは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ 使い終わったら、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いておきます。

■ バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、約5分しかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が動き、しばらく使用できなくなります。

■ 使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラレコーダーからバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、カメラレコーダーの電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます)

長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

電源が入った状態のまま、バッテリーを取り外さないでください。

電源を切り、動作ランプが完全に消えてから、バッテリーを取り外してください。

■ バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部に、ほこりや異物が付かないようにしてください。

また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラレコーダーに入れたり、バッテリーチャージャーに取り付けたりすると、カメラレコーダーやバッテリーチャージャー側を傷めることがあります。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。廃棄 / 譲渡するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

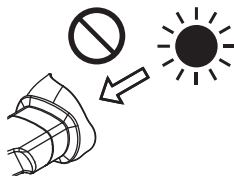
■ 液晶モニターおよびビューファインダーについて

- 液晶モニターに、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが発生することがあります。数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。

- カメラレコーダーが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 本機のビューファインダーは有機 EL を使用しているため、同じ映像や文字が長時間表示されたまま放置されると、画面に映像の焼き付きが発生することがあります。記録される映像には問題ありません。画面の消灯やアイセンサーを使うなどしてこまめに画面を切り替えてください。
- 液晶モニターおよびビューファインダーモニター（有機 EL）のドットについては、有効画素の 99.99% 以上の高精度管理をしていますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。

■ **レンズやビューファインダーのアイピースは、太陽に向けないでください。**

内部の部品が破損するおそれがあります。



■ **端子の保護キャップについて**

使用しない接続端子には、保護キャップを取り付けておいてください。

■ **GPS について**

GPS (Global Position System) 衛星は米国国務省に管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。

屋内や樹木などの障害物に影響を受けない、上空がひらけた見通しの良い場所で測位を行ってください。周囲の環境や時刻によって、測位までの時間が長くなったり、誤差が大きくなったりする場合があります。

■ **レーザー光線についての留意点**

レーザー光線が MOS センサーに照射されると、MOS センサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ **次の点にご留意ください。**

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、および P2 カードの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー、タイムゾーンの設定・確認をしてください。記録したコンテンツの管理、再生順序に影響します。

■ **ワイヤレス LAN をご使用時の留意点**

DIRECT モードで 5 GHz 設定時、屋外での使用が禁止されています。

\* DIRECT モードは、スマートフォン、タブレット端末、パーソナル コンピューターから本機に直接アクセスするモードです。

■ **本製品に関するソフトウェア情報**

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This product includes PHP, freely available from <http://www.php.net/>.
- 6 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 7 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれていません。

これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

### ■ USB ドライバーインストール時の留意点

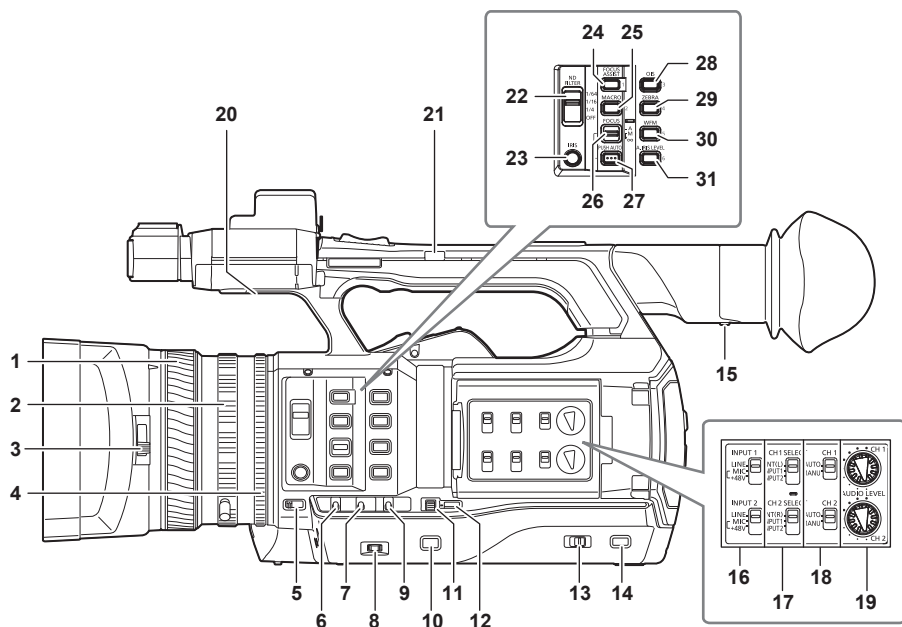
ドライバーに関する最新情報は次の Web サイトをご覧ください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

- Web サイトから必要なドライバーをパーソナルコンピューターにインストールしてください。
- ドライバーのインストール手順は、Web サイトにあるインストールマニュアルを参照してください。

## 各部の名称

## 左面部



## 1 フォーカスリング

〈FOCUS〉スイッチを〈M〉に設定しているときに、手で焦点を合わせます。

## 2 ズームリング

〈ZOOM〉スイッチを〈MANUAL〉に設定しているときに、手でズーム操作をします。

## 3 レンズカバー開閉レバー

レンズカバーの開閉ができます。

## 4 アイリスリング

〈IRIS〉ボタンでマニュアルアイリスに設定しているときに、手でレンズ絞りを調整します。

## 5 〈ZOOM〉スイッチ

ズームの動作を選択します。

〈SERVO〉：ズームレバーを使ってモータードライブによるズーム動作ができます。

〈MANUAL〉：手でズームリングを操作し、画角を調整できます。

## 6 〈DISP/MODE CHK〉スイッチ

各種撮影状態の確認などができる跳ね返りスイッチです。

- 〈OFF〉側に倒すと、動作状態表示とエリアなどの枠表示、カウンター、マーカ、セーフティーゾーン表示以外の全ての表示が消えます。

- 〈CHK〉側に倒すと、撮影待機または撮影中に各種撮影機能の設定状態、USER ボタンに割り当てた機能の一覧など全ての情報が液晶モニターに表示されます。〈CHK〉側に倒すごとにステータス表示が順番に切り替わります。

## 7 〈GAIN〉スイッチ

撮影時の照明の状態に合わせて、画面の明るさを切り替えます。

### 8 〈F.AUDIO LEVEL〉 つまみ

次の場合に、音声チャンネル 1 ~ 4 の録音レベルが調整できます。

- 〈CH1〉 / 〈CH2〉 スイッチを 〈MANU〉 に設定しているとき
- メインメニュー → [AUDIO SETUP] → [RECORDING CH SETTING] で [AUTO LEVEL CH3] / [AUTO LEVEL CH4] を [OFF] に設定しているとき

音声チャンネル 1 ~ 4 の割り当ては、メインメニュー → [AUDIO SETUP] → [RECORDING CH SETTING] → [FRONT VR SELECT] で設定できます。

### 9 〈WHITE BAL〉 スイッチ

ホワイトバランスの調整方法を選択します。

〈PRST〉: ホワイトバランスをプリセット値に設定します。〈AWB〉 ボタンを押すたびに、[3200K]、[5600K] と [VAR] が切り替わります。

〈A〉 / 〈B〉: 記憶されたホワイトバランスの調整値を使用するときに選択します。

### 10 〈MENU〉 ボタン

ボタンを押すと、[USER MENU] が表示されます。ボタンを 3 秒以上押すと、メインメニューが表示されます。再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

### 11 〈SEL/PUSH SET〉 ダイアルボタン

設定メニューを表示しているときに、設定メニューの移動、選択や設定をします。

シャッター値、シンクロスキャン値、バリアブルフレームレート値、ホワイトバランスのプリセット値を設定します。

### 12 〈MODE/MENU CANCEL〉 ボタン

- 設定メニューを表示していないときは、ボタンを押すたびに、シャッタースピード、バリアブルフレームレート、ホワイトバランスのバリアブル値を変更する各モードに切り替わります。

- 設定メニューを表示しているときは、メニュー内容の設定をキャンセルして、前の画面に戻ります。

### 13 〈AUTO/MANUAL〉 スイッチ

撮影時に、フォーカス、ゲイン、絞り、ホワイトバランス、シャッタースピードを調整する方法を選びます。〈AUTO〉 に割り当てる機能は、メインメニュー → [AUTO SW] で設定できます。

〈AUTO〉: 自動調整をします。(オートモード)

〈MANUAL〉: 手動調整をします。(マニュアルモード)

### 14 〈SLOT SEL〉 ボタン

記録対象の microP2 メモリーカードスロットを選択します。

このボタンは、USER ボタン (USER7) として使用することもできます。

### 15 視度調整レバー

ビューファインダー画面が見やすいように視度を調整します。

### 16 〈INPUT 1〉 / 〈INPUT 2〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 1〉 / 〈AUDIO INPUT 2〉 端子に接続した音声入力信号を切り替えます。

〈LINE〉: ライン入力オーディオ機器を接続しているときに選択します。

〈MIC〉: 外部マイクを接続しているときに選択します。

〈+48V〉: 外部マイクを接続し、マイクに電源を供給する必要があるときに選択します。

### 17 〈CH1 SELECT〉 / 〈CH2 SELECT〉 スイッチ

音声チャンネル 1/2 に記録する音声を選択します。

〈INT (L)〉 / 〈INT (R)〉: 内蔵マイクの左音声 (右音声) を記録します。

〈INPUT 1〉: 〈AUDIO INPUT 1〉 端子からの入力信号を記録します。

〈INPUT 2〉: 〈AUDIO INPUT 2〉 端子からの入力信号を記録します。

### 18 〈CH1〉 / 〈CH2〉 スイッチ

音声チャンネル 1/2 の入力レベルを調整する方法を選択します。

〈AUTO〉: 自動で調整します。

〈MANU〉: 〈AUDIO LEVEL CH1〉 / 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみで調整します。

### 19 〈AUDIO LEVEL CH1〉 / 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみ

音声チャンネル 1/2 の録音レベルを調整します。

## 20 内蔵スピーカー

再生中の音声を出力します。  
ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声が自動的に消えます。

## 21 ハンドルズームスイッチ

ズームレバー（ハンドル側）の動作を選択します。  
〈FIX〉：メインメニュー → [SW MODE] → [H.ZOOM SPEED] で設定したスピードでズームします。  
〈VAR〉：レバーの押し具合によってズーム速度が変わります。（軽く押すと低速、強く押すと高速）  
〈OFF〉：ズームレバーは動作しません。

## 22 〈ND FILTER〉 スイッチ

被写体の照度に合わせてフィルターを選択します。  
〈1/64〉：MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。  
〈1/16〉：MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。  
〈1/4〉：MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。  
〈OFF〉：ND フィルターを使用しません。

## 23 〈IRIS〉 ボタン

レンズ絞りの調整方法を選択します。

## 24 〈FOCUS ASSIST〉 ボタン

メインメニュー → [SW MODE] → [FOCUS ASSIST MODE] で設定されたフォーカスアシスト機能の有効 / 無効を切り替えます。  
このボタンは、USER ボタン（USER1）として使用することもできます。

## 25 〈MACRO〉 ボタン

フォーカスのマクロ機能の入 / 切ボタンです。  
このボタンは、USER ボタン（USER2）として使用することもできます。

## 26 〈FOCUS〉 スイッチ

フォーカス機能を選択します。  
〈A〉：オートフォーカスモードになります。自動でピントを合わせます。  
〈M〉：マニュアルフォーカスモードになります。フォーカスリングを手動で制御して、ピントを合わせます。  
〈∞〉：ピント距離を無限大に合わせた後、マニュアルフォーカスモードになります。  
このスイッチは、跳ね返りスイッチになっています。〈∞〉側に倒しても、〈FOCUS〉スイッチは、〈M〉の位置に戻ります。

## 27 〈PUSH AUTO〉 ボタン

マニュアルフォーカスモードのときに押すと、その間、自動でピントを合わせます。

## 28 〈OIS〉 ボタン

手ぶれ補正機能の入 / 切ボタンです。  
このボタンは、USER ボタン（USER3）として使用することもできます。

## 29 〈ZEBRA〉 ボタン

ゼブラパターンの表示かマーカの表示かを選択します。  
このボタンは、USER ボタン（USER4）として使用することもできます。

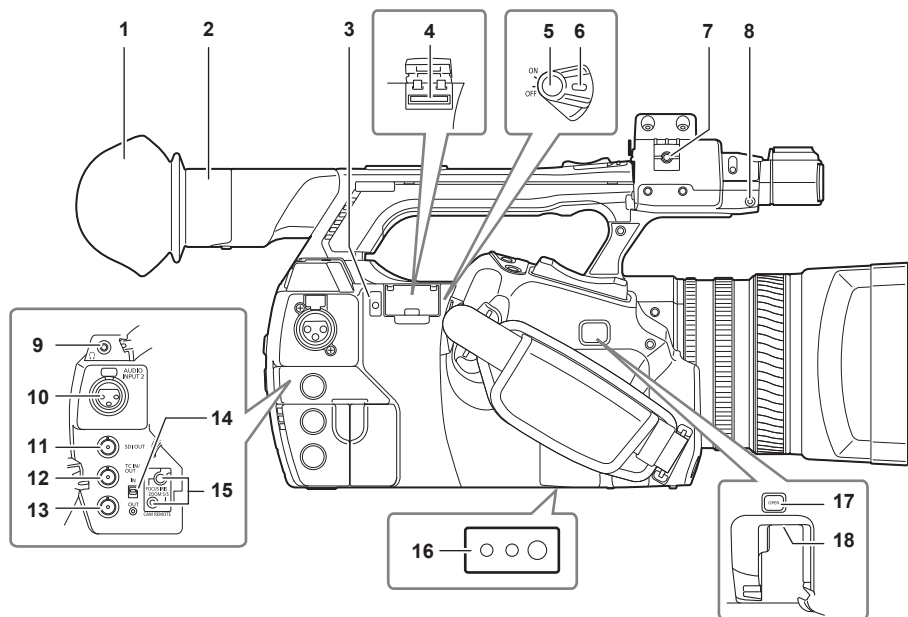
## 30 〈WFM〉 ボタン

液晶モニターに波形モニターを表示させるかどうかを選択します。  
このボタンは、USER ボタン（USER5）として使用することもできます。

## 31 〈A.IRIS.LEVEL〉 ボタン

オートアイリス機能の入 / 切ボタンです。  
オートアイリスレベルの目標値は、メインメニュー → [SCENE FILE] → [A.IRIS LEVEL EFFECT] で設定します。  
このボタンは、USER ボタン（USER6）として使用することもできます。

右面部



1 アイカップ

2 アイピース

3 ビジー（動作状態表示）ランプ

SDメモリーカードの動作状態を表示するランプで、動作時に点灯します。

4 SDメモリーカードスロット

SDメモリーカード（別売品）の挿入口です。SDメモリーカードは、カメラの設定メニューの記録/呼び出し、メタデータのアップロードやプロキシー記録などで使用します。

**NOTE**

・SDメモリーカードの使用上のお願

- 本機には、SD規格、SDHC規格、またはSDXC規格に準拠したSDメモリーカードを入れてご使用ください。プロキシー記録をする場合は、class2以上のクラス表示があるSDメモリーカード、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカードをご使用ください。プロキシーデータの記録フォーマットが【SHQ 2CH MOV】または【AVC-G6 2CH MOV】の場合は、class4以上のカードをご使用ください。
- MMC (Multi Media Card) は使用できません。（撮影できなくなるおそれがありますので、お気をつけください）
- miniSD/microSDカードを本機で使用する場合は、必ず、miniSD/microSDカード専用のアダプターを装着してご使用ください。（miniSD/microSDアダプターのみを本機に挿入すると、正常に動作しません。アダプターには必ず、メモリーカードを入れてご使用ください）
- 当社製のSDメモリーカード、およびminiSD/microSDカードをご使用いただくことをお勧めします。また、フォーマットは必ず、本機で行ってください。
- 取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、次のWebサイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>



- SDHC メモリーカードは、2006 年に SD アソシエーションにより策定された、2 GB を超える大容量メモリーカードの規格です。
- SDXC メモリーカードは、2009 年に SD アソシエーションにより策定された、32 GB を超える大容量メモリーカードの規格です。

**5 記録ボタン (グリップ側)**

ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。  
サムネールモードからのダイレクト撮影ができます。

**6 電源スイッチ**

電源の入 / 切スイッチです。

**7 マイクケーブルクランプ**

マイクケーブルを固定するためのクランプです。

**8 ピンホルダー**

本機から取り外したズームリングピンを取り付けます。

**9 ヘッドホン端子**

音声モニター用ヘッドホンの接続端子です。

**10 <AUDIO INPUT 2> 端子 (XLR、3 ピン)**

オーディオ機器、またはマイクを接続します。

**11 <SDI OUT> 端子**

HD/SD SDI 信号の出力端子です。

**12 <TC IN/OUT> 端子**

タイムコードの入出力端子です。  
入力と出力は <IN/OUT> スイッチで選択します。

**13 <GENLOCK IN/VIDEO OUT> 端子**

カメラ部にゲンロックをかけるときの基準信号入力端子です。また、モニター用映像の出力端子です。  
入力と出力は <IN/OUT> スイッチで切り替えます。

**14 <IN/OUT> スイッチ**

<TC IN/OUT> 端子と <GENLOCK IN/VIDEO OUT> 端子の入力と出力とを切り替えます。

**15 <CAM REMOTE> 端子**

リモコン (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。

**<FOCUS IRIS>** : (3.5 mm ミニジャック) フォーカス操作、アイリス操作をリモートコントロール  
できます。

**<ZOOM S/S>** : (2.5 mm ミニジャック) ズーム操作、録画の開始 / 停止をリモートコントロール  
できます。

**16 三脚取り付け穴**

三脚を取り付けます。(底面)

**● 取り付け穴サイズ**

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

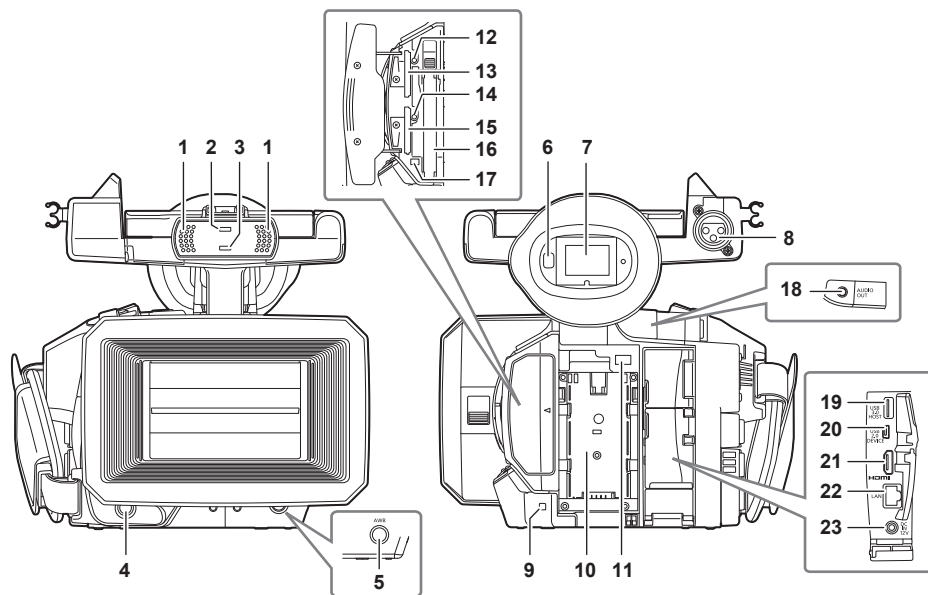
**17 <OPEN> ボタン**

ボタン下部の <USB2.0 HOST> 端子のカバーを開けるときに使用します。

**18 <USB2.0 HOST> 端子 (サブホスト)**

ワイヤレス LAN 用です。ワイヤレスモジュール AJ-WM30 (別売品) を装着します。

前面部、後面部



- 1 内蔵マイク  
内蔵のステレオマイクです。
- 2 外光センサー  
屋内、屋外で光を検知するためのセンサーです。
- 3 フロントタリールンプ  
撮影中に点灯します。バッテリーの残量が少なくなったときなどに点滅します。
- 4 記録ボタン（フロント側）  
ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。  
メインメニュー → [SW MODE] → [FRONT REC] でこのボタン動作を禁止することもできます。
- 5 〈AWB〉ボタン  
ボタンを押すと、ホワイトバランスを調整します。約 2 秒以上ボタンを押すと、ホワイトバランス調整に続いて、ブラックバランスを調整します。
- 6 アイセンサー  
目を近づけるとビューファインダーに画面を表示します。

**NOTE**

・ご使用の眼鏡の形状、カメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることにより、アイセンサーが正しく働かないことがあります。

- 7 ビューファインダー
- 8 〈AUDIO INPUT 1〉端子（XLR、3 ピン）  
オーディオ機器、またはマイクを接続します。
- 9 リアタリールンプ  
撮影中に点灯します。バッテリーの残量が少なくなったときなどに点滅します。
- 10 バッテリー取り付け部

**11 バッテリー取り外しボタン**

バッテリーを取り外します。

**12 microP2 メモリーカード 1 アクセス LED**

microP2 メモリーカードスロット 1 に挿入したカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

**13 microP2 メモリーカードスロット 1****14 microP2 メモリーカード 2 アクセス LED**

microP2 メモリーカードスロット 2 に挿入したカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

**15 microP2 メモリーカードスロット 2****16 P2 メモリーカードスロット****17 P2 メモリーカードアクセス LED**

P2 メモリーカードスロットに挿入したカードの記録、再生のアクセス状況を表示します。

**18 〈AUDIO OUT〉 端子**

音声チャンネル 1/2 に記録された音声信号を出力します。

**19 〈USB3.0 HOST〉 端子 (ホスト)**

外部ハードディスクドライブなどを接続します。

**20 〈USB2.0 DEVICE〉 端子 (デバイス)**

パーソナルコンピュータと USB 2.0 ケーブルで接続してデータ転送ができます。

**21 〈HDMI OUT〉 (モニター出力) 端子**

モニター用映像の出力端子です。

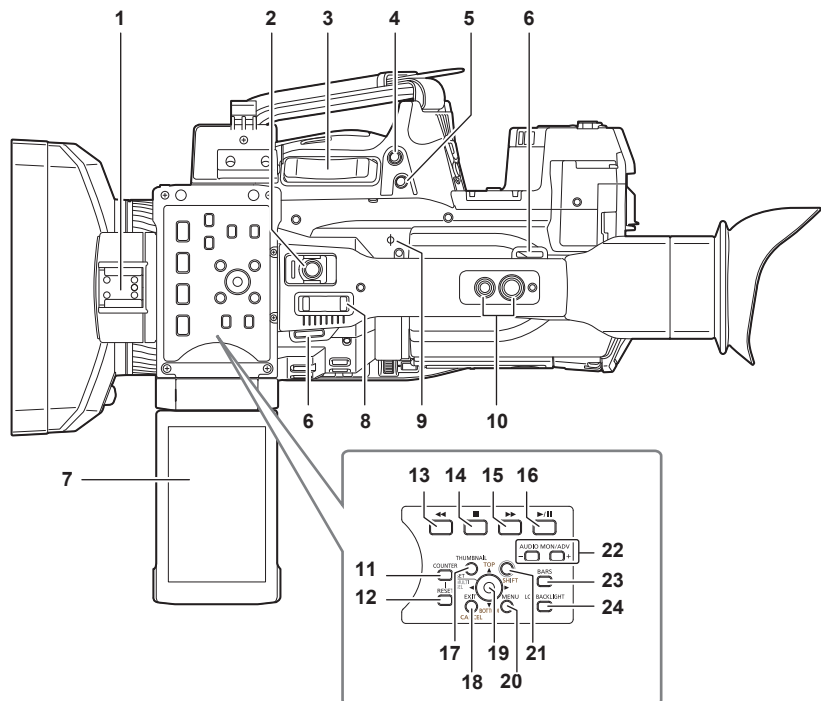
**22 〈LAN〉 端子**

LAN ケーブルを接続します。

**23 〈DC IN 12V〉 端子**

外部電源の入力用端子です。付属の AC アダプターを接続します。

## 上部部



- 1 **ライトシュー**  
ビデオライトなどを取り付けます。
- 2 **記録ボタン（ハンドル側）**  
ボタンを押すと記録が始まります。再度押すと記録が停止します。  
ホールド機構付きです。
- 3 **ズームレバー（グリップ側）**  
映像のズームを調整します。  
〈T〉：ズームインします。  
〈W〉：ズームアウトします。
- 4 **〈IRIS〉ボタン**  
レンズ絞りの調整方法を選択します。  
このボタンは、USER ボタン（USER8）として使用することもできます。
- 5 **〈REC CHECK〉ボタン**  
録画を一時停止しているときにボタンを押すと、直前のクリップの映像・音声を約 3 秒間再生します。
- 6 **ショルダーベルト取り付け部**  
ショルダーベルトを取り付けます。
- 7 **液晶モニター**
- 8 **ズームレバー（ハンドル側）**  
映像のズームを調整します。  
〈T〉：ズームインします。  
〈W〉：ズームアウトします。

**9 焦点マーク〈Φ〉**

MOS センサーの焦点位置を示します。

被写体からの焦点距離を正確に測る場合は、このマークを基準としてください。

**10 ハンドル取り付け穴**

ハンドルを取り付けます。

● 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

**11 〈COUNTER〉 ボタン**

カウンターの表示内容を切り替えます。

**12 〈RESET〉 ボタン**

タイムカウンター表示をリセットします。

**13 〈◀▶〉 ボタン**

サムネール画面を表示しているときに動作します。

停止中に押すと高速逆再生になります。

再生中に押すと約 4 倍速の逆再生になります。

また、再生の一時停止状態のときに押すと、現在再生中のクリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

**14 〈■〉 ボタン**

サムネール画面を表示しているときに動作します。

再生を停止するときに押します。

また、インターバル記録、ワンショット記録を停止するときや、ワンクリップレックのクリップ連結をいったん終了するときに押します。

**15 〈▶▶〉 ボタン**

サムネール画面を表示しているときに動作します。

停止中に押すと高速再生になります。

再生中に押すと約 4 倍速の再生になります。

また、再生の一時停止状態のときに押すと、次クリップの先頭で一時停止した状態（頭出し状態）になります。

**16 〈▶/■〉 ボタン**

サムネール画面を表示しているときに動作します。

再生画像を見るときに押します。

再生中に押すと、再生を一時停止します。

**17 〈THUMBNAIL〉 ボタン**

ボタンを押すと、液晶モニターおよびビューファインダー画面にサムネール画面を表示します。再度押すと通常の表示に戻ります。

**18 〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉 ボタン**

設定メニューやプロパティ画面を表示中、表示を前の状態に戻します。

〈SHIFT〉 ボタンを押しながらこのボタンを押すと、キャンセル機能として動作します。クリップ選択状態を一括で解除する場合などに便利です。

**19 コントロールスティック**

サムネールの選択、メニューの操作やエリアモード機能の操作に使用します。

**20 〈MENU〉 ボタン**

ボタンを押すと、[USER MENU] が表示されます。ボタンを 3 秒以上押すと、メインメニューが表示されます。

サムネール表示中に押すと、サムネールメニューの操作画面が表示され、クリップの削除などができます。

**21 〈SHIFT〉 ボタン**

コントロールスティックまたは別のボタンと同時に操作して使用します。

- 〈SHIFT〉 ボタンを押しながらコントロールスティックを上 / 下方向に倒す  
サムネール画面で、先頭または最後のクリップのサムネールにカーソルを移動します。
  - 〈SHIFT〉 ボタンを押しながらコントロールスティックを押す  
直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択します。
  - 〈SHIFT〉 ボタンを押しながら〈EXIT〉 / 〈CANCEL〉 ボタンを押す  
キャンセル機能として動作します。
- 〈SHIFT〉 ボタンを押した状態での動作は、各操作部のオレンジ色の表示です。

### 22 〈AUDIO MON/ADV〉 ボタン

- 〈+〉：再生中に押すと、モニター音声の音量を大きくします。一時停止中に押すと、コマ送りします。  
〈-〉：再生中に押すと、モニター音声の音量を小さくします。一時停止中に押すと、コマ戻しします。

### 23 〈BARS〉 ボタン

カラーバーの入 / 切ボタンです。カラーバーはテストトーン（1 kHz）と連動します。

### 24 〈LCD BACKLIGHT〉 ボタン

液晶モニターのバックライトの明るさを選択します。

## 電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または AC アダプターが使用できます。

### バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。

予備のバッテリーを 1 本用意することをお勧めします。

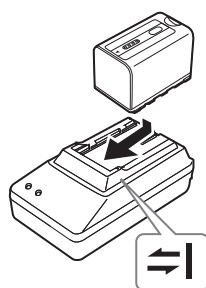


図 1

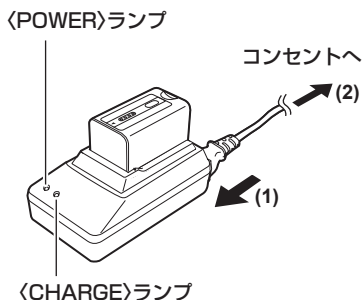


図 2

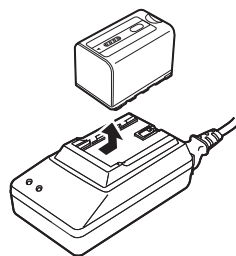


図 3

**1** バッテリーチャージャーの⇄マークにそってバッテリーを水平にのせ、スライドさせる。(図 1)  
しっかり押し込んでください。

**2** AC コードを接続する。(図 2)

図の順番で差し込んでください。

- <POWER> ランプ
  - AC コードを接続すると点灯します。
- <CHARGE> ランプ
  - 点灯：充電中です。
  - 消灯：充電完了です。
  - 点滅：バッテリーを取り付け直してください。

**3** バッテリーをスライドさせて取り外す。(図 3)

#### ■ 充電時間と撮影可能時間の目安

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影可能時間
AG-VBR59 (付属品)	7.28 V/5900 mAh	約 385 分	約 110 分
VW-VBD58 (別売品)	7.2 V/5800 mAh	約 380 分	約 90 分
VW-VBD55 (別売品)	7.2 V/5400 mAh	約 330 分	約 85 分

- 動作周囲温度 20 ℃、動作相対湿度 60% での時間です。その他の温度や湿度では、充電時間が長くなる場合があります。
- AG-VBR59 (付属品) は急速充電対応のバッテリーパックです。バッテリーチャージャー AG-BRD50 (別売品) で充電することにより、急速充電が可能です。

#### NOTE

- 連続撮影可能時間は次の条件での時間です。その他の条件では、連続撮影可能時間は短くなります。

- 液晶モニターを開けた状態
- メインメニュー → [OUTPUT SEL] → [SDI OUT] を [OFF] に設定
- メインメニュー → [OUTPUT SEL] → [VIDEO OUT] を [OFF] に設定
- <HDMI OUT> 端子にケーブルを挿していない状態
- ・バッテリーおよびカメラレコーダー本体は、使用中や充電中には温度が高くなります。
- ・バッテリーは、放電した状態で保管してください。
- ・長期間保管する場合、1年に1回は充電し、カメラレコーダーで充電容量を使い切ってから再保管することをお勧めします。
- ・バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするときは、<CHARGE> ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- ・バッテリーが長期間使用されず放電したままになっているときは、<CHARGE> ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- ・バッテリーが適温でも<CHARGE> ランプが点滅し続けるときは、バッテリーかバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。販売店にご相談ください。
- ・バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- ・バッテリーチャージャーをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。バッテリーチャージャーとラジオは1 m以上離してお使いください。
- ・バッテリーチャージャーの使用中に、バッテリーチャージャーからノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。

### ■ 付属バッテリーについて

#### ● 残量表示機能

バッテリーのLED表示により残量目安を確認できます。

カメラ本体に取り付けて撮影しているときとバッテリー単体のときで残量表示が異なる場合があります。

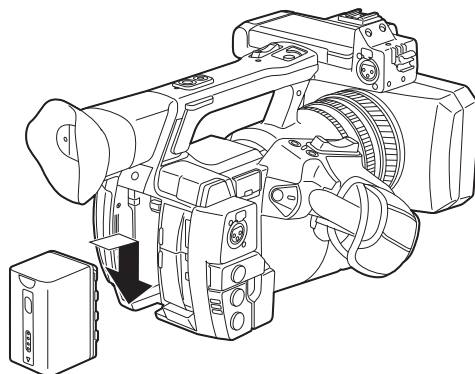
バッテリー充電中は、バッテリーのLEDが点滅し、充電進捗状況の目安を点滅位置でお知らせします。充電が完了するとバッテリーとバッテリーチャージャーのLEDが消灯します。

#### ● 付属バッテリーは本機専用です。

他の機器では使用しないでください。

## バッテリーの取り付け / 取り外し

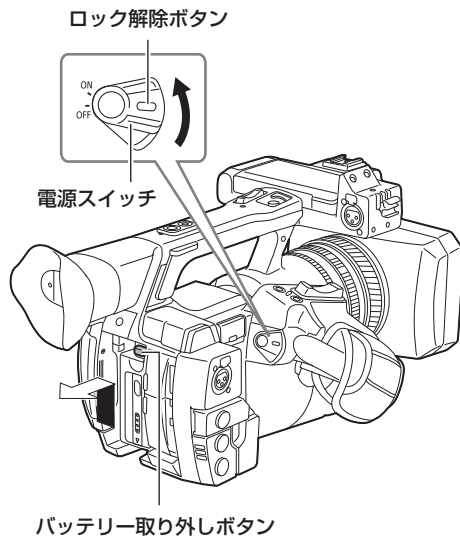
### 取り付け



#### 1 カチッという音がるまで入れる。



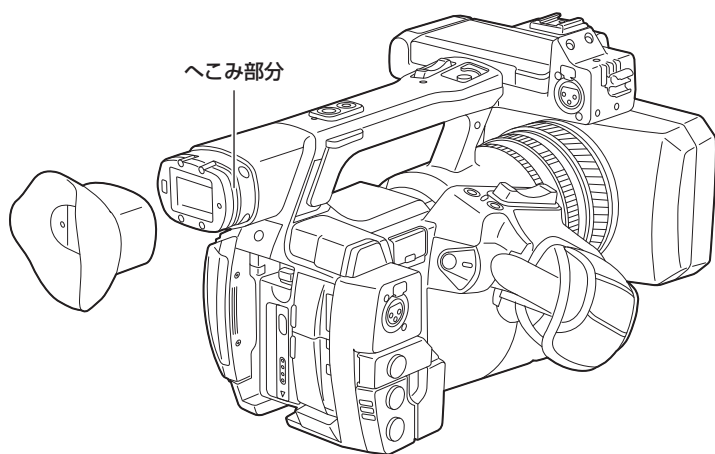
## 取り外し



- 1** ロック解除ボタンを押しながら、電源スイッチを〈OFF〉にする。  
液晶モニターが消灯したことを確認してください。
- 2** バッテリー取り外しボタンを押しながらバッテリーを持ち上げて取り外す。  
バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。

## アクセサリーの取り付けと調整

### アイカップの取り付け



- 1 アイカップ取り付け部のへこみ部分とアイカップ内側の突起部分が合わさるように取り付ける。

## 設定メニューの構成

### メニューの種類と開き方

メニューの種類	用途	開き方
[USER MENU]	メインメニュー → [USER MENU SEL] で任意の項目やページを選択して [USER MENU] に登録できます。使用目的や頻度に応じて選択し、固有のメニュー構成にすることができます。	〈MENU〉ボタンを押すと表示します。
メインメニュー	設定メニューの全項目を設定できます。使用目的や、設定頻度などに応じてカテゴリ別に階層化した構成になっています。	〈MENU〉ボタンを3秒以上押すと表示します。
[OPTION MENU]	将来的な機能追加などを考慮したメニューを準備しています。詳しくは販売店にご相談ください。	〈LCD BACKLIGHT〉ボタンを押しながら 〈MENU〉ボタンを押すと表示します。

### メインメニューの構成

[SCENE FILE]	シーンファイルに関する設定をします。カメラ映像の細かな画質調整の設定や、シーンファイルの選択、およびシーンファイルデータの内部メモリーへの読み書きをする項目です。このメニュー項目は、サムネール画面が表示されている場合、設定できません。
[SYSTEM MODE]	映像、音声の記録フォーマットに関する設定をします。
[USER SW]	USER ボタン (USER1 ~ USER8) に割り当てる機能を設定します。
[SW MODE]	各種スイッチで切り替えたときの各種モードの動作に関する設定をします。このメニュー項目は、サムネール画面が表示されている場合、設定できません。
[AUTO SW]	オートモードに関する設定をします。オートアイリス、オートゲイン制御、オートトラッキングホワイトバランス機能、オートフォーカスを個別に設定できます。このメニュー項目は、サムネール画面が表示されている場合、設定できません。
[RECORDING SETUP]	本機の記録再生を行う場合の各種設定項目です。システム周波数、ライン数の設定、記録フォーマットおよび記録の方式はここで設定します。
[CLIP]	ビューファインダーや液晶モニターに表示されるクリップのサムネールを確認しながら、再生、削除、コピー、メタデータの編集などを行うときに使用します。このメニュー項目は、サムネール画面が表示されているときに有効です。[DELETE] や [COPY] などのクリップ操作は、対象のサムネールが選択されたときに有効になります。一部の項目は、USB ホストモードやそのエクスプローラー画面など特定の状態でのみ表示されます。
[AUDIO SETUP]	音声の入出力に関する設定をします。
[OUTPUT SEL]	〈SDI OUT〉、〈HDMI OUT〉、〈GENLOCK IN/VIDEO OUT〉、〈TC IN/OUT〉端子からの出力に関する設定をします。
[NETWORK SETUP]	ネットワークに関する設定をします。
[DISPLAY SETUP]	ビューファインダーや液晶モニター画面上に表示する内容に関する設定をします。このメニューの項目は、サムネール画面が表示されている場合は設定できません。

## 本機搭載ファームウェアのアップデート

[CARD FUNCTIONS]	シーンファイルおよびユーザーファイルの、SD メモリーカードへの読み書きに関する設定をします。
[OTHER FUNCTIONS]	ユーザーファイルの内部メモリーへの読み書きや初期化、本機の設定に関する項目です。
[MAINTENANCE]	本機の保守点検を行う項目です。本機搭載ファームウェアのアップデートを行うときに使用します。
[DIAGNOSTIC]	本機のファームウェアのバージョン表示、製品名、製造番号、通電時間の項目を表示します。
[USER MENU SEL]	[USER MENU] に表示する項目を設定します。

## 本機搭載ファームウェアのアップデート

メインメニュー → [DIAGNOSTIC] → [VERSION] で本機のバージョンを確認のうえ、NOTE に記載された Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

### NOTE

- ・アップデートはダウンロードしたファイルを、SD メモリーカードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデート方法について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

## 保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、  
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

\* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### ■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品の、製造打ち切り後、8 年保有しています。

\* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいでは困る本体設定情報はあらかじめ削除し、P2 カードや SD メモリーカードを外して、ご依頼ください。

## 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

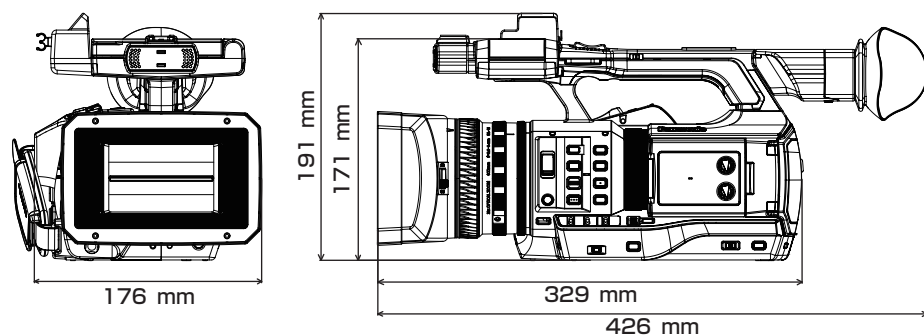
### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AJ-PX270
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

## 定格

### 寸法図



## 定格

### 総合

電源  
 DC ≒ 7.2 V (バッテリー使用時)  
 DC ≒ 12 V (ACアダプター使用時)  
 消費電力  
 19.5 W (液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 80% (結露なし)
質量	約 2.2 kg (本体のみ、レンズフード、バッテリーおよび付属品を除く) 約 2.6 kg (レンズフード、付属のバッテリー、マイクホルダーを含む)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	本体のみ 176 mm × 171 mm × 329 mm (突起部分を除く)

### カメラ部

撮像素子	1/3 型 220 万画素、MOS 固体撮像素子 ×3
レンズ	光学式手ぶれ補正レンズ、光学 22 倍電動ズーム F1.6-F3.2 (f=3.9 mm-86 mm) 35 mm 換算 : 28 mm-616 mm (16:9)
フィルター径	72 mm
色分解光学系	プリズム方式
ND フィルター	<OFF>、<1/4>、<1/16>、<1/64>
最短撮影距離 (M.O.D)	前玉から 1.1 m

ゲイン切り替え	<p>&lt;L&gt; / &lt;M&gt; / &lt;H&gt; の切り替えスイッチ          -3 dB ~ 18 dB (1 dB ステップ)          (マイナスゲインは [HIGH SENS.] 時のみ)          (USER ボタンに [S.GAIN] 割り当て時: 24 dB、30 dB、36 dB 切り替え)</p>
色温度切り替え	<p>[ATW]、[ATW LOCK]、[Ach]、[Bch]、プリセット 3200 K/ プリセット 5600 K/VAR (2000 K ~ 15000 K)</p>
シャッタースピード	<p>[SYSTEM MODE] =59.94 Hz 時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 60i/60p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/60 (シャッターオフ)、1/100、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒</li> </ul> </li> <li>● 30p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/30、1/50 (シャッターオフ)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒</li> </ul> </li> <li>● 24p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/24、1/50 (シャッターオフ)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒</li> </ul> </li> </ul> <p>[SYSTEM MODE] =50 Hz 時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 50i/50p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/50 (シャッターオフ)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒</li> </ul> </li> <li>● 25p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/25、1/50 (シャッターオフ)、1/60、1/120、1/250、1/500、1/1000、1/2000 秒</li> </ul> </li> </ul>
スローシャッタースピード	<p>[VFR] = [OFF] で設定可能          [SYSTEM MODE] =59.94 Hz 時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 60i/60p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/1、1/2、1/4、1/6、1/15、1/30 秒</li> </ul> </li> <li>● 30p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/1、1/2、1/4、1/6、1/15 秒</li> </ul> </li> <li>● 24p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/1、1/2、1/4、1/6、1/12 秒</li> </ul> </li> </ul> <p>[SYSTEM MODE] =50 Hz 時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 50i/50p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/1、1/2、1/4、1/6、1/12、1/25 秒</li> </ul> </li> <li>● 25p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/1、1/2、1/4、1/6、1/12 秒</li> </ul> </li> </ul>
シンクロスキャンシャッター	<p>[SYSTEM MODE] =59.94 Hz、[SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 60i/60p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/60.0 ~ 1/249.8 秒</li> </ul> </li> <li>● 30p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/30.0 ~ 1/249.8 秒</li> </ul> </li> <li>● 24p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/24.0 ~ 1/249.8 秒</li> </ul> </li> </ul> <p>[SYSTEM MODE] =50 Hz、[SYNC SCAN TYPE] = [sec] 設定時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 50i/50p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/50.0 ~ 1/250.0 秒</li> </ul> </li> <li>● 25p モード:             <ul style="list-style-type: none"> <li>1/25.0 ~ 1/250.0 秒</li> </ul> </li> </ul>

## 定格

シャッター開角度	3.0 deg ~ 180.0 deg ~ 360.0 deg (0.5 deg ステップ、角度表示)
VFR 記録フレームレート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1080/59.94p : 1、2、4、6、9、12、15、18、20、21、22、24、25、26、27、28、30、32、34、36、40、44、48、54、60 (フレーム / 秒)</li> <li>● 1080/50p : 1、2、4、6、9、12、15、18、20、21、22、23、24、25、26、27、28、30、32、34、37、42、45、48、50 (フレーム / 秒)</li> </ul>
感度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [HIGH SENS.] モード F11 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/59.94i) F12 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/50i)</li> </ul>
最低被写体照度	0.02 lx (F1.6、ゲイン 18 dB、[1S.EXP.]、[HIGH SENS.] モード時)
デジタルズーム	2 倍 / 5 倍 / 10 倍
レンズフード	レンズカバー付きフード

## メモリーカードレコーダー部

記録メディア	microP2 メモリーカード、P2 メモリーカード
記録スロット	microP2 メモリーカードスロット ×2、P2 メモリーカードスロット ×1
システムフォーマット	1080/59.94p、1080/59.94i、1080/23.98PsF、 720/59.94p、480/59.94i 1080/50p、1080/50i、720/50p、576/50i
記録フォーマット	AVC-Intra 200/AVC-Intra 100/AVC-Intra 50 AVC-LongG 50/AVC-LongG 25/AVC-LongG 12 DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV フォーマット切り替え
記録ビデオ信号	1080/59.94p、1080/59.94i、1080/29.97pN、 1080/23.98pN 720/59.94p、720/29.97pN、720/23.98pN 480/59.94i、480/29.97p 1080/50p、1080/50i、1080/25pN 720/50p、720/25pN 576/50i、576/25p



記録再生時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-Intra 200 16 GB×1 約 8 分 32 GB×1 約 16 分 64 GB×1 約 32 分</li> <li>● AVC-Intra 100/DVCPRO HD 16 GB×1 約 16 分 32 GB×1 約 32 分 64 GB×1 約 64 分</li> <li>● AVC-Intra 50/AVC-LongG 50/DVCPRO50 16 GB×1 約 32 分 32 GB×1 約 64 分 64 GB×1 約 128 分</li> <li>● AVC-LongG 25/DVCPRO/DV 16 GB×1 約 64 分 32 GB×1 約 128 分 64 GB×1 約 256 分</li> <li>● AVC-LongG 12 16 GB×1 約 120 分 32 GB×1 約 240 分 64 GB×1 約 480 分</li> </ul> <p>1 クリップとして連続記録したときのものです。記録するクリップ数によっては全体の記録時間は短くなる場合があります。</p>
--------	---

## デジタルビデオ部

サンプリング周波数	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-Intra 200/AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/AVC-LongG 50/AVC-LongG 25/AVC-LongG 12/DVCPRO HD Y : 74.1758 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 37.0879 MHz (59.94 Hz) Y : 74.2500 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 37.1250 MHz (50 Hz)</li> <li>● DVCPRO50 Y : 13.5 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 6.75 MHz</li> <li>● DVCPRO Y : 13.5 MHz、P<sub>B</sub>/P<sub>R</sub> : 3.375 MHz</li> </ul>
量子化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-Intra 200/AVC-Intra 100/AVC-Intra 50/AVC-LongG 50/AVC-LongG 25 : 10 bit</li> <li>● AVC-LongG 12/DVCPRO HD/DVCPRO50/DVCPRO/DV : 8 bit</li> </ul>
ビデオ圧縮方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-Intra 200/AVC-Intra 100/AVC-Intra 50 : MPEG-4 AVC/H.264 Intra Profile</li> <li>● AVC-LongG 50/AVC-LongG 25/AVC-LongG 12 : MPEG-4 AVC/H.264</li> <li>● DVCPRO HD : DV-Based Compression (SMPTE 370M)</li> <li>● DVCPRO50/DVCPRO : DV-Based Compression (SMPTE 314M)</li> <li>● DV : DV Compression (IEC 61834-2)</li> </ul>

## デジタルオーディオ部

記録オーディオ信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-Intra 200 48 kHz/24 bit、4CH</li> <li>● AVC-Intra 100/ AVC-Intra 50 : 48 kHz/16 bit、4CHと 48 kHz/24 bit、4CHの切り替え</li> <li>● AVC-LongG 50/AVC-LongG 25 : 48 kHz/24 bit、4CH</li> <li>● AVC-LongG 12/DVCPRO HD/DVCPRO50 : 48 kHz/16 bit、4CH</li> <li>● DVCPRO/DV : 48 kHz/16 bit、4CH</li> </ul>
ヘッドルーム	12 dB/18 dB/20 dB メニュー切り替え可

## AVC プロキシ部

ファイルフォーマット	MOV
ビデオ圧縮フォーマット	H.264/AVC Baseline Profile H.264/AVC High Profile
オーディオ圧縮フォーマット	AAC-LC リニア PCM
記録時間 (1 GB あたり) の目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>● AVC-G6 2CH MOV : 約 13 分</li> <li>● SHQ 2CH MOV : 約 25 分</li> <li>● HQ 2CH MOV : 約 78 分</li> <li>● LOW 2CH MOV : 約 135 分</li> </ul> <p>パナソニック製を使用して連続記録した場合の参考値です。 記録時間はシーンやクリップ数によって異なります。</p>

## ビデオ入出力部

〈SDI OUT〉 端子	BNC×1
	HD (3G/1.5G)、SD : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈VIDEO OUT〉 端子	BNC×1
	〈GENLOCK IN〉 端子兼用、〈IN/OUT〉 スイッチ切り替え
	コンポジット : 1.0 V [p-p]、75 Ω
〈HDMI OUT〉 端子	HDMI×1 (HDMI タイプ A 端子、ピエラリンク非対応)

## オーディオ入力部

内蔵マイク	ステレオマイク対応
〈AUDIO INPUT 1〉 / 〈AUDIO INPUT 2〉 端子	XLR×2、3ピン 入力ハイインピーダンス、〈LINE〉 / 〈MIC〉 スイッチ切り替え <ul style="list-style-type: none"> <li>●〈LINE〉： 4/0 dBu (メニュー選択可)</li> <li>●〈MIC〉： -40/-50/-60 dBu (メニュー選択可)、〈+48V〉入/切 (スイッチ切り替え)</li> </ul>

## オーディオ出力部

〈AUDIO OUT〉 端子	3.5 mm 径ステレオミニジャック×1 出力レベル：600 Ω、316 mV
ヘッドホン端子	3.5 mm 径ステレオミニジャック×1 100 Ω、-16 dBV (32 Ω 負荷、出力レベル最大時)
スピーカー	丸形 20 mm 径×1

## その他入出力部

〈CAM REMOTE〉 端子	2.5 mm 径スーパーミニジャック×1 〈ZOOM S/S〉 3.5 mm 径ミニジャック×1 〈FOCUS IRIS〉
〈GENLOCK IN〉 端子	BNC×1、〈VIDEO OUT〉 端子兼用、〈IN/OUT〉 スイッチ切り替え、1.0 V [p-p]、75 Ω
〈TC IN/OUT〉 端子	BNC×1 入力 / 出力端子兼用、〈IN/OUT〉 スイッチ切り替え <ul style="list-style-type: none"> <li>●入力：1.0 V ~ 4.0 V [p-p]、10 kΩ</li> <li>●出力：2.0 V ± 0.5 V [p-p]、ローインピーダンス</li> </ul>
〈LAN〉 端子	100BASE-TX/10BASE-T
〈USB2.0 DEVICE〉 端子 (デバイス)	タイプミニ B コネクター、4ピン
〈USB3.0 HOST〉 端子 (ホスト)	タイプ A コネクター、9ピン
〈USB2.0 HOST〉 端子 (サブホスト)	タイプ A コネクター、4ピン (ワイヤレスモジュール用)
〈DC IN 12V〉 端子	DC12 V (DC10.5 V ~ 13.5 V)、EIAJ タイプ 4

## モニター

液晶モニター	3.5 型 QHD カラーモニター (約 156 万ドット)
ビューファインダー	0.5 型 OLED (有機 EL ディスプレイ) (約 236 万ドット、映像表示エリア約 177 万ドット)

## AC アダプター

### 定格入力

AC ～ 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz

66 VA (AC 100 V時)

82 VA (AC 240 V時)

### 定格出力

DC === 12 V、2.5 A

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C～40 °C
動作周囲湿度	10%～80% (結露なし)
質量	約 210 g
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	115 mm×37 mm×57 mm

## バッテリーチャージャー

### 定格入力

AC ～ 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz

26 VA (AC 100 V時)

36 VA (AC 240 V時)

### 定格出力

DC === 8.4 V、1.2 A

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C～40 °C
動作周囲湿度	10%～80% (結露なし)
質量	約 160 g
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	70 mm×44.5 mm×116 mm

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

©Panasonic Corporation 2014